

第 118 号

# 育成会 会報

令和5年度版

発行所

一般社団法人  
広島県手をつなぐ育成会

広島市西区打越町17-27  
育成会総合福祉センター内  
TEL (082)537-1773  
FAX (082)225-7555  
編集責任 金子麻由美

## おめでとーございませす！ 文部科学大臣表彰

### 神辺育成会の本人部会「神辺さくらの会」

特定非営利活動法人神辺育成会の本人部会「神辺さくらの会」は、この度、令和5年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受け、榎木美奈子会長及び兼森路子副会長の2名が、12月2日、オンラインで授賞式に出席しました。



神辺さくらの会  
副会長 兼森さん 会長 榎木さん



オンライン授賞式の様子



まつりでダンスを披露

表彰式では、盛山文部科学大臣からの祝辞を望月総合教育政策局長が代読され、「被表彰者の皆様のこれまでの活動に敬意を表するとともに、これからも誰もが学びたいときに、いつでも学ぶことができる『生涯学習社会』、共に学び共に生きる『共生社会』の実現を目指し、障害のある方の学ぶ環境の整備を推進してまいります。」とお言葉をいただきました。地域で20年以上継続して行ってきた活動（ふれあい祭り、ダンス活動等）が、認められ大臣表彰を受けたことはとても嬉しいことです。

毎年近隣の中学校の体育館でミニ運動会を開催し、異年齢の会員たちがともに運動を通して親睦を深めていること、月に一回インスタクターの先生の指導の

下、ダンスを練習して地域のイベントに出演し、地域の方々からエールをいただいていること、受賞も本人たちの活動の励みにもなります。今後も育成会活動を通して仲間づくり

を大切にし、異年齢の会員たちとともに学習やスポーツ等に取り組み交流を図っていききたいと思っております。誠にありがとうございます。

### 全国手をつなぐ育成会連合会久保顧問「旭日小綬章」を受章

久保厚子顧問におかれましては、令和5年秋の叙勲におかれまして「旭日小綬章」を受章されました。久保顧問のこの度の叙勲の受章を心からお祝い申し上げます。功労概要は、社会福祉功労によるものです。この受章とともに全育連が栄転評価団体として復帰できました。久保顧問の受章と合わせてお祝いの会が、令和6年3月17日に行われる予定でしたが、令和6年能登半島地震の発生により延期となりました。久保顧問は、滋賀県大津市でお生まれになり、地元でご結婚され3人のお子様を授けられました。長男が重度の知的障害でした。長男の誕生をきっかけに、地域の育成会活動に努められました。その後、社会福祉法人全国手をつなぐ育成会理事長を務められました。平成26（2014）年から現在の一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会会長として昨年6月まで職務を全うされました。現在も、日々本人やその家族の目線に立ち活動をされています。久保会長時代、全国の会員の声を集めて、国への要望活動や審議会への参画になどで働きかけられ、教育、権利擁護、雇用、生活面などの分野で多くのことを実現されました。今後とも、ご健康に留意されますことを祈念申し上げます。

### 全国手をつなぐ育成会連合会の会長交代

令和5年6月29日（木）に開催されました全国手をつなぐ育成会連合会の定時総会におきまして、多年にわたり会長を務められた久保厚子会長から佐々木桃子会長にバトンタッチされました。佐々木会長は、社会福祉法人大田幸陽会理事を現在も務められています。会長になられる前には、全国手をつなぐ育成会連合会副会長を務められ、社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会の理事長、東京都手をつなぐ親の会会長も兼任されておられました。重度の自閉症のお子様がおられ、お子様が幼いころから地域の育成会で活動が続けられました。このたび顧問の職に就かれました久保顧問におかれましては、自ら立ち上げられた社会福祉法人しが夢翔会の理事長として、また、地域の公益社団法人滋賀県手をつなぐ育成会理事も務められています。多くの役員を熟されています。このたび、会長が交代しましたが、佐々木会長とともに久保顧問におかれましては、これまでどおり、障害のある方がそのらしく地域で暮らしていくために様々なことに取り組み手腕を発揮されることと思っております。

# 今年度を振り返って思うこと

一般社団法人広島県手をつなぐ育成会会長 金子麻由美



皆様、日頃より  
育成会活動にご理  
解とご協力を賜  
り、誠にありがと  
うございます。

さて、今年度は、元旦に能登半島大

地震が発生し、一か月後、広島から  
もDWA Tが派遣されましたが、避  
難生活の長期化が避けられない様子  
に心が痛みます。犠牲になられた方  
のご冥福を心よりお祈りし、被災さ  
れた皆様には心からお見舞いを申し  
上げ、一日も早い復旧・復興をお祈  
りいたします。また、広島県内の育  
成会の皆様からお寄せいただいた義  
援金は、全国手をつなぐ育成会連合  
会を通じて被災された育成会の皆様  
に届けられます。義援金は、4月末  
まで受け付けていますので、ご協力  
の程どうぞよろしくお願い申し上げ  
ます。

## ● 災害や避難場所について

この度の地震で福祉避難所の開  
設が遅れ、一時避難所が開設され  
ました。中には、障害特性のため  
に一時避難所に入れず、半倒壊し  
た自宅や車で過ごす方もおられま  
したが、一時避難所でのようにな

配慮があれば過ごせるかを考え、  
行政に伝えておくことが必要だと  
思います。今年度は、第5次広島  
県障害者プランが策定されます  
が、避難行動要支援者に係る個別  
支援計画については、「市町が主  
体となって作成を進めること」と  
なっています。障害者自立支援協  
議会等で、しっかり声をあげるこ  
とが求められます。また、広島県  
に「マイ・タイムライン」風水害  
編と地震編が作成されています。  
自宅の危険度を知りタイムライ  
ンに書くこと、民生委員さんやご近  
所さんに障害特性を知ってもらっ  
ておくこと、地域の避難訓練に参  
加するなど、事前の備えを地域の  
皆さんとぜひ一緒に考えておき  
ましょう。

## ● 相談会・おしゃべり会について

今年度、「相談会・おしゃべり  
会」を福山市神辺町・広島市・竹  
原市・海田町・芸北町の地域育成  
会と、太田川学園保護者会、どん  
ぐり保護者会の施設保護者会で開  
催いたしました。話し合うこと  
や、講師からの情報で課題が見え  
ることがあります。参加人数の大

小にかかわらず、参加者にご満足  
いただいていると感じています。  
来年度も引き続き実施いたしま  
す。まだの支部の皆様は、この機  
会にご検討ください。心よりお待  
ちしております。

## ● 若い会員をどうやって増やせばいいの？

コロナ禍前に巡回いたしました  
13支部の課題の多くは、全国でも  
共通である「若い会員が増えない  
こと」でした。そこで、現在以下  
3点を進めています。

- ・ 今年度から活動部会のメンバ  
ーを一新し、福山市・広島市・  
庄原市・廿日市市・三原市・東  
広島市の小学生から特別支援学  
校卒業後間がない保護者に交代し  
ていただき、若い方の増員につ  
いてご意見をいただいていると  
ころです。新たな視点のご意見  
をお聞きし、むこう2年は、学  
齢期向けのサポートファイルや  
障害基礎年金の研修会等の希望  
される学習会を開催いたしま  
す。開催の周知広報により、若  
年層にまずは育成会を知ってい  
ただきたいと考えています。
- ・ 各支部に若い保護者が訪問さ  
れたら、まずは個々の話を傾聴  
し、それは大変だったね！と共

感じ温かく迎えてください。ご  
経験から言いたいこともあるか  
もしれませんが、それは信頼関  
係ができてから。放課後等デイ  
サービ스에問題もありますが、  
ダメな制度ではなく、上手な利  
用の仕方を一緒に考えてみてく  
ださい。まずは寄り添うことが  
大切だと思います。

引き続き、県内の特別支援学  
校を訪問したいと考えていま  
す。お近くの支部にお声掛けい  
たしますので、できるだけ同行  
していただきますようお願いい  
たします。

## ● 事業所協議会の活動について

昨年度から春木副会長の元、内  
容も新たに活動を再開しました。  
地域の障害者を支える事業所が元  
気に頑張っていただけけるよう、事  
業所見学や国立病院機構賀茂精神  
医療センターの元山淳先生による  
スーパバイズ、管理職部会と若  
手部会での協議、そして、広島駅  
南口地下広場で自主製品の販売や  
事業所紹介・ステージ発表・作品  
展を開催しました。来年度も内容  
を拡大して開催する予定です。多  
くの皆様のご参加をお願いいたし  
ます。

# 大会を終えて

第48回広島県知的障害者福祉大会

尾道大会大会実行委員長 三宅 春美

第48回広島県知的障害者福祉大会並びに、第21回はつらつ大会（本人大会）を尾道市で開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、大会を半日開催いたしました。当日は天候にも恵まれ、ご来賓の方々をはじめ県内各地より多数のご参加をいただきました。また、大会前日の準備や当日は早朝から多くのボランティアの方々にご協力をいただきましたお陰で、無事に終えることができました。本当にありがとうございます。

一般大会では、コーディネーターに副島宏克氏、シンポジストに田中貴美氏、田中洋子氏、一丸善樹氏をお招きし「医療、福祉、教育など生涯を抜けて途切れのないネットワークを築こう」というテーマを元に、障害のある人と、地域社会、福祉に関わる専門職の方、また、育成会の方などについてお話しいただき、みんなが課題を考えていくことが大切だとご教示くださいました。

はつらつ大会では、「瀬戸の十字路でぎずなを深めよう」をテーマに、行政の方からは自分たちの生活に関わる尾道市の福祉制度について説明をしていただき、学び合い、しっかりと考え、親亡き後どう生きるかをみんなで話し合いました。その決心を決議文にしているので、どうかそれぞれの町の方々に理解して欲しいと願っています。

意見発表では、本人たちの想いを緊張しながらも堂々と発表しました。レクリエーションでは、あすなる太鼓、ポエラニ尾道によるフラダ



この大会を通して貴重なお話、体験を得ることができましたので、それぞれの地域で参考にさせていただき、今後の育成会活動を盛り上げていきたいと思っております。

最後になりましたが、この尾道大会に関わってくださいました皆様に深く感謝を申し上げます。また、今後とも指導いただきまますようお願いいたします。

## 尾道大会を振り返って

広島県はつらつ友の会会長 河野靖範

今年のはつらつ大会は、新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、久しぶりの対面での開催で、広島県各地からたくさんの仲間が尾道に集まりました。

今回のテーマは「瀬戸の十字路でぎずなを深めよう」に決まり、大会までみんなで内容について話し合いを重ね、「行政との話し合い」と「意見発表」と「レクリエーション」をすることになりました。

開会式と閉会式については特に問題なく、時間通りにできたと思います。

「行政との話し合い」では、スクリーンを使っての福祉サービスの説明など一つ一つ丁寧に説明をしていただきとても良かったと思います。ただ、時間が足らず、予定をしていた質問にすべて答えてもらえなかったのは残念でした。

「意見発表」では「親亡き後の生活について」をテーマに、グループホームで生活している人、一人暮らしをしている人それぞれに発表をしていただきました。親亡き後の生活については、みんなが必ず直面することなので、このことについて考えられるいい機会になったのではないかと思います。

「レクリエーション」では、あすなる太鼓とフラダンス体験をしました。フラダンスが少し難しかったとの声も聞かれましたが、参加者みなさん「楽しかった」と言われ、とても楽しまれた様子でした。

「大会決議文」については、発表者が練習をしてきたかがあり、しっかりと決議文の発表ができたと思います。とて嬉しかったです。一般大会での決議文の発表では発表するまでに少しトラブルがありましたが、そんなトラブルにも負けず、しっかりと決議文の発表ができたと思います。

来年度のはつらつ大会は廿日市市で開催されます。現地役員さんとはつらつ役員と一緒に話し合いをしっかりと行って、今年以上の良い大会にしていけたらと思います。



あすなる太鼓の迫力ある演奏



一般大会で本人決議文を報告

第48回広島県知的障害者福祉大会尾道大会

決議文

私たちは、第48回広島県知的障害者福祉大会尾道大会を、山や海に囲まれ、古き良き面影の残る尾道で開催しました。

「障害者総合支援法」「障害者差別解消法」「障害者虐待防止法」の施行などの法的基盤の整備により、少しずつ共生社会への歩みは進んでいるように思えます。今大会のメインテーマ「このまちでふつうに生きたいな」を長年にわたり掲げていますが、障害のある人たちが地域で安心して自立した生活を継続して送るためには、まだ課題も多く更なる前進が必要で

す。障害のある人たちを、保護者である親が支援できなくなる時はいつか必ずやってきます。その時のために、乳幼児期から高齢期まで一生涯にわたり、医療・福祉・教育などの関係機関との途切れのないネットワークの輪を拡げていくことが大切です。障害のある人たちが主体性を持ち、より安心して心豊かに生活を送るためには何が必要なのか考えていくことが重要であり、親なき後の生活支援の充実を目指していかねばなりません。本大会の名において、以下の事項をここに決議します。

- 一、一人一人の特性やニーズに応じた療育や教育が受けられると共に、共生社会に向けて家庭と学校と福祉の連携を進め、特別支援教育や児童発達支援の充実を図ること。
一、一人一人が意欲を持って働けるよう、個々の特性に合った就労支援の充実を図ること。
一、障害者の地域生活における住まいの場であるグループホームなど、ニーズにそった整備を図ること。
一、障害児・者やその家族に対する相談支援事業をより分かりやすく、アクセスしやすい体制とすること。
一、障害児・者の将来も見据えた生活支援体制のために、医療・福祉・教育など途切れのないネットワークを充実させること。
一、災害時の支援策を確立し、取り残される人がないよう対応の強化を図ること。
一、障害児・者の権利を守り、差別観念を払拭するために広く障害者差別解消法や障害者虐待防止法の周知を図ること。
一、本人大会で決議されたことを真剣に受けとめ実行できるように支援すること。

以上、決議します。

令和5年10月22日

第48回広島県知的障害者福祉大会 尾道大会 参加者一同

第21回はつらつ大会(本人大会) (尾道大会) 決議文

私たちは、それぞれの地域で仲間をつくり、つながりあい、力を合わせて色々なことを学び、働き、安心して豊かに暮らしていけるように努力していきます。また、障害のあるなしにかかわらず、思いやりとやさしい心で一緒に生活できる社会を目指して、次のことを決議します。

- 1 私たちに関係することを決めるときには、必ず私たちを交えて決めてください。私たちに関係のある情報は、私たちにもわかりやすく教えてください。
2 必要とする福祉サービスは、住む町や障害の程度に関係なく制限を設けず、平等に利用できるようにしてください。
3 私たちは、働くことで社会参加を進めたいと思います。働く場所と働きやすい職場環境を作ってください。
4 自分たちでできることは、自分たちで努力します。できないことがあるときや悩んでいるときは、身近に相談できる人や場所を増やしてください。
5 いじめ、差別、虐待のない、安心して生活できる社会にしたいと思います。
6 最近のグループホームやアパートの家賃が上がってきています。家賃補助をもっと増やしてください。また、一人暮らしをしている障害者にも家賃補助を適用してください。
7 障害者手帳(療育手帳)を持っている全ての人が障害基礎年金を受給でき、医療費が全額免除になる仕組みを作ってください。
8 障害のある人たちが災害や地震などにあったときのために、わかりやすい防災マップ、標識、表示などの情報と対策方法を教えてください。
9 本人活動は、とても大切です。チャレンジ精神を忘れないで本人活動を広め、活発にしていきます。本人活動をもっと応援し、支援者を増やしてください。
私たちの願いが、多くの人に伝わり、実現できることを信じて・・・
以上、決議します。

令和5年10月22日

第21回はつらつ大会(本人大会) (尾道大会) 参加者一同

### 第8回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会愛媛大会に参加して

広島市手をつなぐ育成会安佐北区支部 小川 優子

愛媛大会では、第1分科会に参加しました。『幼児期・学童期・青年期 育ちと日々の暮らし・兄弟姉妹への関わり「ひとりひとりの個性(好き)を伸ばし、無理なく楽しく暮らす」のテーマで基調講演とシンポジウムが行われました。

基調講演では、社会福祉法人麦の子会理事長北川聡子氏のご講演で、麦の子会での実践や、幼児期の発達支援で大切にされていること、学齢期思春期では教育と福祉や医療との連携に取り組みられていること、子ども同士の仲間づくりや親同士の繋がり大切さを等々皆さんの参考になることを話されました。また、イタリヤ等海外の教育の考え方もご紹介されました。インクルーシブの考え方が日本とは違っていることを聞き、海外の教育での「共に生きる」という考え方が日本でも広がって、障害のある人が特別扱いされるのではなく、みんな仲間という意識が広がれば良いと思いました。シンポジウムでは5名のシンポジストが発表をされました。

松山市「こどもの相談室ふらつと」主任相談支援専門員の和田さんは、相談支援の業務の中での気づきや大切にされていることを話され、0歳〜就学前までのお子さんの相談件数が多いが、特に小学校入学前の相談が一番多いことを紹介されました。そして、マイナス因子を強化している療育もあることに問題も感じられていることや、子ども期の療育について見直すことも必要なのではないかと話されました。岡山のカレッジ旭川学院長の月さんは、福祉型大学の現状などを話されました。広島市にも福祉型大学はありますが、内容にはかなり違いがありました。自立訓練2年就労移行支援2年の4年制であることや、教育保障の思いは同じでしたが、教養課程・専門課程の教育内容や卒業進路に向けての取組等がとても充実されています。いろいろな課題や今後への期待もありながら、学生たちの今の学びの時期を大事にしたいという思いを話されたのが印象的でした。

全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会の増田さんは、「自身のきょうだいとしての育ちの中で、想いや妹さんのこと、子どもきょうだいで活動されている中で、様々な思いをたくさんお話されて、きょうだいの大切さを語られていたのが心に残りました。全国手をつなぐ育成会権利擁護センター年金チームの井上さんは、ご自身も障害のあるお子さんがおられる保護者です。障害基礎年金について、なぜ必要なのか、困りごとは何かということや、年金学習会の必要性をわかりやすく説明されました。会場の方は皆さん



シンポジストとして登壇した小川さん



すまいる大会分科会で「生活について」という題で発表した、はつらつ友の会会長河野さん

も興味深い内容だったの

#### 令和5年度第8回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会愛媛大会 会長表彰 広島県表彰状受賞者(1名)

瀬良 京子 特定非営利法人神迎育成会 理事長

#### 令和5年度第11回手をつなぐ育成会中国・四国大会愛媛大会 会長表彰 広島県表彰状受賞者(3名)

金子麻由美 一般社団法人広島県手をつなぐ育成会 会長  
南 由美子 尾道手をつなぐ育成会 副会長  
徳永 玲子 呉市手をつなぐ育成会 副会長兼常務理事

#### 令和5年度身体障害者等更生援護功労者等知事表彰(知的障害者関係) 表彰状受賞者(3名)

時安 茂 社会福祉法人みどりの町 障害福祉サービスもりの輝舎  
中村 初喜 社会福祉法人清風会 就労継続支援A型清風会吉田工場  
宮本いづみ 社会福祉法人静和会 障害福祉サービス事業所ぼぼろ元町

#### 令和5年度第48回 広島県知的障害者福祉大会 会長表彰 表彰状受賞者(10名)

沖田 信之 大竹市心身障害児・者手をつなぐ育成会大竹NAKAMA会  
今川 千昭 社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会  
中島 恵 社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会  
平野美津代 社会福祉法人みどりの町育成会  
丸谷小百合 尾道手をつなぐ育成会  
三島 裕美 尾道手をつなぐ育成会  
新元 史子 みよし親の会「夢」  
米川 晃 広島県知的障害者福祉協会  
西山 美香 広島県特別支援教育研究連盟  
吉村 貴 社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会

(敬称略)

で、すごく真剣に聴いておられ、質問もたくさん出ていました。「教えて！障害基礎年金」のDVDを活用した学習会は、会員以外の方にも育成会のことを知ってもらうチャンスになるという話を話されていたので、今後勉強会に使ってみたいと思います。私は、保護者の立場から、子育てで大切にしてきたことや、好きなことを見つけて増やすためにしてきた活動を、写真を中心にお話しました。息子2人もシンポジウムのお話にいたので、自分達の話をお話の場が少なかった。と感想を話してくれました。

色々な立場から、幼児期・学童期・青年期の話がありとても良いシンポジウムだったと思います。最後に特に印象に残ったお話を紹介します。麦の子会の北川理事長の「支援を受ける側から支援をする側に」という「癒された人が癒し人に」と、子どもが大きくなって、それまで支援を受けていた保護者の方が今度は他の子を育てる部署で働くという、子育ての循環が麦の子会で実践されていることを聞き、今後懸念される福祉分野等での人手不足を、子育ての循環で補い、みんなが手をつないでいけたら素晴らしい社会になるのではと感銘を受けました。

# 令和5年度の活動部会

常務理事 中尾秀行

広島県手をつなぐ育成会には、活動部会があります。会長の諮問機関としての位置づけで、令和5年度から、コロナ禍の影響等で育成会の活動が停滞していることや若い会員の入会が少ないことなどから地域育成会の再活性化を図ることを目的として、活動部会員を再結成いたしました。広島県内から6名の若い会員で構成しています。今年度は、ラインを通じた意見交換、リモートによる協議を行い、具体的な活動を展開することにしました。

まずは、若い方の育成会加入者が減少していることから、その要因を探るところから始めました。「若い方の育成会加入が少ないのはなぜか。」「どうしたら若い方の育成会加入が増えるのか。」「この2点について意見交換をしました。」

「育成会の存在を知らない。」「育成会が、何をするとところなのかわからない。」「会費を払ってまで、入会するメリットがない。」「役員をやるのが嫌だ。」「今の時代、スマホでたくさん情報を得られたり、調べられたりできるので、それで十分。」などたくさん意見が出されました。

若い方の育成会加入が増えるため

には、「育成会の存在を知ってもらおう取組を行う。」「就学前の方を対象にした研修会を開催し、啓発をする。」「育成会が、縦横のつながりができる、先の見通しが見える、安心感が得られる、分かり合えて助けあげられる、そういう会だと入りた。」「などの知恵が出されました。」

そこで、特別支援学校や特別支援学級など学齢期や就学前の保護者と繋がり構築すること、地域のニーズ・ターゲットに応じた活動を行うことを目的に、今年度、福山市エリア（3月）と、庄原・三次エリア（3月）、東広島エリア（4月）で実際の活動を行うことにしました。「おしゃべり会」「相談会」「サポートファイル学習会」などを企画しました。活動の実際は、次の会報で報告します。

今後とも、地域育成会に若い方の加入が増えることを願ってこれからも活動していきまますのでよろしくお願ひします。



おしゃべり会&サポートファイル学習in沼隈 (3月27日)

## 「太田川学園 相談会・おしゃべり会開催しました！」

広島県手をつなぐ育成会 副会長 柏田潤子

令和6年1月9日太田川学園 地域の人たちの障害者に対する皆様の相談会・おしゃべり会を開催しました。各入所施設の会長8名と職員3名の参加があり、ご要望にありました広島県手をつなぐ育成会の「今年度方針と来年度に向けた方向性」についてお話しし、皆様からの意見や要望、困りごとなどをお聞きしました。



「入所者の高齢化が進み、ほとんどの方がスポーツ大会等の余暇活動に参加できない。」「本人の苦しみは、親でも分かってやれない。」「親も高齢化し、親亡き後、職員さんにご迷惑をお掛けするのではないか。」「軽度の人たちの苦勞も知ってほしい。」「世間の流れとして施設から地域への移行と言われているが、

地域の人たちの障害者に対する正しい理解は進んでおらず、偏見や差別があり安心して地域で暮らせないのではないか。」「という看過できないご発言がありました。一方、「余暇活動等でスポーツの体験会はあるが、体験する以前に見学をするという選択枠を設けてもらえないだろうか」という、とても建設的な意見もありました。また、あび隊の活動に賞賛の言葉をくださりとても嬉しく光栄に思いました。最後は、職員の皆様の貢献に対して報酬アップや好事例に対しての表彰等、モチベーションの上がる仕組みができないものかという温かな親心が聞かれ、有意義な会になったのではないかと思います

# 広島県立沼隈特別支援学校と 福山北特別支援学校を訪問しました

福山手をつなぐ育成会 理事長 槇本里子

令和5年8月28日、広島県育成会より神辺育成会瀬良理事長、福山手をつなぐ育成会槇本、中尾常務理事、郡司事務局員の4名で学校訪問をさせていただきました。

両校は、福山市内にありますが、国道2号線を境に通学区域が分かれ、学校は福山市南部に沼隈特支、北部に福山北特支という位置にあります。沼隈特支は、本年度の生徒数110名です。福田智子校長先生から説明を受けました。教育目標の三つの「あ」と「さ・し・す・せ・そ」の取組を通して地域とつながる力を育てることを伺いました。また、毎年小・中・高等学校の先生方を対象とした特別支援教育事例研修会を開催されて10回目を迎えられ、令和5年は、60名の参加があったそうです。尾道市や、大崎上島町からの参加もあり、地域を越えた先生方とのつながりを感じました。地元名産のブドウの販売を体験してうれしそうな生徒の写真を見せていただき、ほっこりしました。

福山北特支は、生徒数が352名です。就学の区域も広く、隣の府中市や神石高原町からも通学されています。安田幸司校長先生から説明を受けま

した。高等部には、一般就労を目指す職業コースが設置されています。生徒が月2回開催する「フッキーカフェ」には、地域の人たちや、卒業生の利用もあり、おいしいケーキセツトが好評です。ケーキやクッキーの他、学校で収穫した新鮮な野菜の販売もあり、地元の交流の場になっています。今年は、校長先生の発案で、透明な仕切りを取り付けられ、おしゃれな喫茶店になったと利用者から喜ばれています。町内会の回覧板に「福北通信」が入り、フッキーカフェの予定日をチェックしている人たちもおられるそうです。

両校がともに、地域とつながり、キャリア教育に力を入れておられることがよくわかりました。育成会でやっている「心をつなぐサポートファイル」結愛（ゆい）「説明会や、「障害基礎年金の説明会」、福山手をつなぐ育成会の「ふくいくカフェ」と神辺育成会の「サポートファイル記入会」を紹介しながら、生徒一人一人が、自分を大切にして自信をもつて成長されるために、私たち育成会ができることをともに考えていきたいと思えました。両校の関係者の皆様、ありがとうございました。

## 令和5年度「広島県はつらつ友の会本人による本人のための相談会&交流会」を終えて

広島県はつらつ友の会会長 河野靖範

令和5年度広島県はつらつ友の会本人による本人のための相談会&交流会が2月25日に呉の大和ミュージアムで開催されました。当日は、本人68名と支援者等関係者35名の計103名の方が参加され、とてもにぎやかな会となりました。

午前中の学習会では「事件・事故・犯罪について」をテーマに警察官の方に、犯罪に巻き込まれないためには、巻き込まれた時の対応についてお話をいただきました。わかりやすくていねいにお話をしてもらいましたが、少し難しい部分もありました。また少しずつでもみんなで勉強できたらと思います。

午後からの相談会では、仲間の悩みや相談したいことなどを、たくさん聞くことができとても良かったと思います。僕としては、進行と助言がうまくできなかった部分もあったのもっと良い相談会にしていくための課題にしていけたらと思います。

今回の学習会などで学んだことを生かして、犯罪に巻き込まれず、次のはつらつ大会では元気に会いましょう！

最後に、まず会長として開会式に遅刻してしまい皆さんにご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。そして、学習会の講師をしていただいた島原様、お忙しい中ありがとうございました。また、呉育成会関係者のみなさまには当日まで会場の場所の確保や準備、また当日も僕たちが楽しく過ごせるよう準備していただきありがとうございました。



## 各地域での様々な地域育成会活動を紹介します

### ボウリンピックin東広島を終えて

東広島市手をつなぐ育成会会長 村主 武彦

「2023ボウリンピックin東広島」を令和5年12月2日(土)に東広島市の「賀茂ボール」で開催いたしました。この大会の目的は知的障害者が一同に集まり、競技を通して交流を深め、健康の増進と知的障害者のスポーツ振興の一層の推進を図ることを目的とし、参加と出会いの経験によって自立生活への意欲の増進を図ることであります。なお、この大会の記録は、令和6年度の全国障害者スポーツ大会佐賀大会におけるボウリング競技の広島県派遣選手の選考資料となります。

当日の参加は、選手127名、支援者42名、来賓7名、役員23名、合計199名で会場はとても盛り上がりました。参加者は、わきあいあいと楽しく過ごされていました。

反省として、点数採点に時間がかかり今後の課題となりましたが、それでも皆様のお陰で無事大会ができたことに感謝申し上げます。

受賞おめでとう！よく頑張りました



午前の部、男子



午前の部、女子



選手宣誓！



午後は男女合わせてハイ！パシャリ

### 長続きする本人活動を～竹原・本人部会すずらの会～ 竹原市手をつなぐ育成会会長 高下 美智江



私たち「竹原市手をつなぐ育成会」の活動の中心は、本人部会と親子部会の二つです。今回は本人部会の活動について紹介させていただきます。

本人部会の主な活動は、毎週末の余暇活動の計画と参加です。日曜日にはパソコン・絵画・習字・生け花教室と何かしら活動しています。その他にも理事に3名入ってくれて自分たちの意見を年間活動に反映させています。その一つが学習会やスポーツ大会の実施です。

自分たちにわかりやすいものでなければ楽しめないし長続きもしません。本人さんたちの思いを形にできるように会全体で支えています。また、「県大会」や「本人による本人のための相談会&交流会」も楽しみにしています。

令和6年度は、自分たちで外出の企画をたてて楽しみたいと計画中のようです。コロナという長いトンネルを抜けて新しいことを始めようとしている皆さんを応援しています。



### 知的障害者相談員研修会の開催

広島県手をつなぐ育成会事務局員 郡司 香代

毎年三次と育成会総合福祉センターで開催している研修会を、広島県手をつなぐ育成会の副会長として日々会員や地域の方々から相談を受けている、柏田副会長、高下副会長に「障害者が地域で暮らすために」という演題で講演をしていただきました。

グループワークでは、市町の相談員、行政担当者を交えた4～5名でグループを組み、日々の悩みや地域での活動について情報交換を行いました。事前に伺っていたアンケートも集約して配付し、事例や悩み等も話題として取り上げることにより、多角的な内容で話ことができました。行政の方から「相談員は相談者に同調できる立場にある強みがある」という言葉をいただき相談員の皆さんの励みになりました。

研修会で毎回出る悩みの中に「相談員が地域で認知されていない」という案件があります。今後、県の担当者を通じて各市町行政の皆さんへ周知していただき、地域への周知徹底をお願いしていきたいと思っております。行政と親、両方から周知活動など積極的に行うことにより、より活発な相談員活動になることを願っています。



講師も交えた活発な意見交換



### 三原市手をつなぐ育成会の活動について

三原市手をつなぐ育成会会長 岡田 雄 幸

三原市手をつなぐ育成会は、長い間活動が休止しておりましたが、令和4年に活動を再開し、3年目を迎えることができました。

年間の主な活動としては、当会が主催して行う研修会に加えて若い会員が主となって年に2回程度開催する茶話会があります。

今回は、当会がここ2年行ってきた茶話会についてご紹介します。

茶話会は、同じ境遇にある親御さんなどにお声をお掛けし、お茶を飲みながら子育てや制度などについてざくばらんに話していただきます。その際に育成会がどのような活動をしているかなどをお伝えし、お互いが情報を共有する場となっています。

この1月に行った茶話会では、8名の方の参加がありました。まずは、自己紹介から入り、育成会のことについてお伝えし、今聞いてほしいことや思うことをそれぞれの方にしゃべっていただきました。そんな中で「こんなことができたらいいのに、あったらいいのに」など活発な意見も出され、とても和やかな茶話会となりました。

今後は、次の時代を担っていただける若い会員の確保がより重要になってきます。茶話会をとおして、一人でも多くの方に入会していただければと思っています。

次年度からは、茶話会に加えてグループ会の開催も予定しており、活動がより充実できればと期待しています。

### 「大野福祉ふれあいまつり」に参加して

おおの手をつなぐ育成会会長 新谷 庄

廿日市市大野地域（旧大野町）では、第34回「大野福祉ふれあいまつり」がコロナ禍で3回の中止を経て、令和5年10月15日（日）に開催されました。

おおの手をつなぐ育成会は、初回より参加しています。

この「まつり」は、廿日市市社協大野支所を事務局として、30近くの団体による実行委員会で開催されます。参加団体の活動の紹介、作品展示、ボランティア体験、遊休品や手作り品、農産物などの販売がされました。

私たちの会では、今回、「手をつなぐ育成会」から地域に情報発信をして認知度を高めようと、育成会関連の書籍の販売、パンフレットの展示、配布をしました。

一手をつなぐ育成会ってなに？—の質問から始まり相談もありました。今までは、遊休品など購入の「ついで」になっていたことが「主体」になり収穫があったと思っています。また、県育成会事務局からの手伝いをいただき詳しい説明もできたことで、より内容の濃い育成会活動が伝えられたと思います。

少人数の会ですが、色々な情報に敏感になり参加、出席して「手をつなぐ育成」の認知度を上げ、情報の欲しい方、つながりが欲しい方などに関わっていただければと思います。



### 最高のクリスマス会

大竹市心身障害児・者手をつなぐ育成会会長 尾池 菜 緒 美

昨年末も最高のクリスマス会を行いました。季節外れですが皆様にご紹介します。

大竹市は正会員25家族ですが、クリスマス会には、市長、議員、福祉課、市社協、ボランティア団体、民生委員、福祉事業所など、日ごろからお世話になっている皆様合わせて70名に会費制でご参加いただきます。

仲間の皆さんは、年に一度の晴れ舞台に立つのをずっと首を長くして待っていて、CD持ち込みで歌ったり踊ったり、その人の本当の姿を披露してくれます。司会進行も支援者つきで本人の満足重視、緩やかなチャレンジです。そして支援者だって楽しみたいので、自ら志願して余興で盛り上げます。「みんなで楽しみましょう！」の気持ちで会場がいっぱいになって、笑い声や拍手が溢れる会となりました。

大勢の方にお集まりいただきますので、受賞のお披露目や、こつこつ頑張っている仲間の紹介も行います。令和6年度福祉大会・はつらつ大会開催地である廿日市市・大竹市を代表して栗栖大会会長にも一言賜りました。

社協の職員の方や、ボランティアさんにご協力いただきながら、みんなが笑顔で手をつなぐクリスマス会を大切にしたいと思います。



楽しい出し物が盛りだくさん！

# 令和5年度の活動報告〜広島県障害者福祉事業所協議会

広島県手をつなぐ育成会副会長 春木 強

令和5年度は例年になく活発に活動を行うことができました。

まず、広島県障害者福祉事業所協議会主催で令和5年5月17日(水)に、広島駅南口地下広場において「G7広島サミット応援フェア」を開催しました。未加盟事業所を合わせ県内22事業所が参加し、自主製品の販売、2事業所のステージ発表、9事業所による大型ビジョンを使つての作業所紹介を行い、ステージでの合唱、ヒップホップダンスでボルテージは最高潮に。各事業所の利用者さんがステージに集合し、会場全体で歌い、踊りました。「G7広島サミット応援フェア」のポスターを作成していただいた事業所利用者の三浦大地さんが来場、「三浦大地美術館」を開館し、目を見張る素晴らしい作品の展示も行いました。コロナ禍で、閉塞感が強かっただけに、皆さんが元気になり、事業所同士がつながることができた「G7広島サミット応援フェア」でした。「楽しかった」「またやりたい」とのお声をたくさんいただきました。

その言葉を受けて今年6月7日(金)には『第1回事業所フェア』



として開催決定！事業所だけではなく育成会支部・特別支援学校などにも呼びかけをおこない自主製品の販売、ステージ発表、大型ビジョンを使つての活動の紹介を行います。

また、翌週6月14日(金)には総会を行いその後懇親会を開催し楽しいひと時を過ごす予定です。

7月19日(水)に実施した第1回事業所見学会では、事業所が経営しているそば屋で自慢の美味しいそばの試食会、自主製品製作の過程の見学会をし、その後第1回部会を開催しました。あつという間に半日が過ぎましたが、実のある成果を得ることができ第2回目は福山市、第3回

目は安芸高田市にておこない、管理職・若手に分かれて経営や職員の待遇改善について口角泡を飛ばす議論が繰り広げられました。

また各事業所で独立行政法人国立病院機構賀茂精神医療センター児童指導員の元山淳先生による巡回指導「スーパージン事業所」を実施し、実りある成果をもたらしています。

広報活動にも力を入れ、活動の様子を加盟未加盟事業所に周知するために「JK(事業所協議会)かわらばん」を発行、現在は、第3号発行に向けて編集作業を急ピッチで進めています。

現在の事業所協議会は、16事業所加盟(1事業所加盟1事業所脱退)です。令和6年度も課題山積ですが育成会金子会長の下、中尾常務理事、事務局と協働して一つ一つの課題に丁寧に取り組んでいきます。

## 全国手をつなぐ育成会事業所協議会全国大会長崎大会に参加しました

社会福祉法人たんぼぼ管理者 三上寿和

2月24日に出島メッセ長崎において、全国手をつなぐ育成会事業所協議会の全国大会が開催され、参加をさせていただきました。

大会では、行政説明、事業所協議会の成立ちと今後についての講演、本人主体の事業所のあり方と課題についてのシンポジウムが行われました。

令和6年度における報酬改定は全体では+改定となったものの、小規模な事業所にとっては厳しい状況が続くことにより変わりはありません。

久保顧問による基調講演では、事業所協議会の成立ちと育成会との協働、今後についての話を聞かさせていただきました。過去にどのような活動があつて現在あるのか、それをどう未来へとつなげていかなければ

ならないのかということ深く学ぶことができました。

シンポジウムでは3事業所の発表がありました。小規模事業所の抱える課題はどこも同様であるとともに、小規模だからこそきめ細やかな本人主体の支援を実践されておられ、自事業所で取り組んでいる支援に対しての応援をいただいているような気持ちになりました。

慢性的な人手不足、人口減少、過疎化など小規模の事業所を取り巻く環境は今後ますます厳しくなることが予想されます。だからこそ、広島県における事業所協議会の取組は重要であり、事業所間の連携を深めるとともに、育成会と協働しながら、活動を活発にさせていかなければならないと今回の大会参加を通じて、強く思いました。



事業所見学会・ふれあいの家たんぼぼ



### 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の報告

広島県知的障害者ソフトボール協会 高橋一夫

『広島県知的障害者ソフトボール協会』スタッフの高橋一夫です。2023年10月に行われました特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」のご報告をさせていただきます。

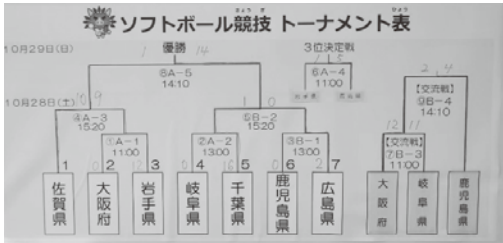
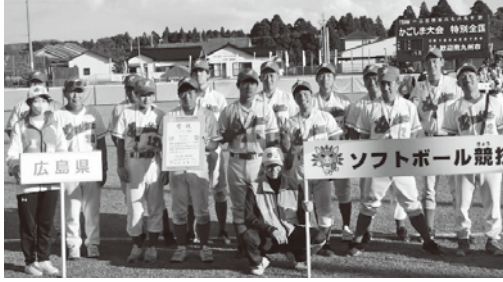
まず、結果から申し上げますと、残念ながら3位に終わってしまいました。

2018年に福井県で行われた全国大会に出場した選手6名、初めての全国大会だった選手5名の11名の選手で、かごしま大会に挑みました。

10月27日の公式練習日には天候に恵まれず、雷雨で中断、さらにヒョウも降りだし、肌寒さも感じるなか、思うように練習が出来ないまま公式練習は終了。

10月28日の初戦は開催県の鹿児島県。打線が繋がらず得点が入りませんでした。5回を終了して0-0の為、6回からはタイブレークでランナー2塁からのスタート。そこでようやく得点を取ることができ、なんとか勝つことができました。

その日に準決勝があり、相手は千葉県。この試合も初戦と同じように打線が繋がらず。5回終了して0対0。6回からのタイブレークでしたが、0点に終わり、裏の攻撃で得点され負けてしまいました。ピッチャーはほぼヒットを打たれることなく、



打者を抑えていたので、1点を入れていたら勝てた試合でした。10月29日に岩手県との3位決定戦でようやく広島らしい勢いのあるチームが戻り、安心して見ていられる試合でした。初戦からこの勢いがあれば・・・。

しかし、選手・スタッフ共に『来年は絶対に千葉県にリベンジするぞ』と新たな目標ができました。負けて悔しい思いはしましたが、負けたことによりたくさんさんの修正点を見つかることもできました。来年こそ優勝報告ができるように選手・スタッフ共に切磋琢磨しながら成長していきたいと思えます。

応援していただいた皆様、本当にありがとうございました。また、これからもよろしく願います。

### 安心して参加できるイベント

広島市手をつなぐ育成会佐伯支部 山口光明

「つ、次の日曜日はサッカーを、見に行きましょう」

サッカー観戦が決まると、潤也は毎日のようにカレンダーを見て予定を確認する。とても楽しみにしているのだろう。

育成会主催のサッカー観戦イベントは、もう何回目の参加だろうか？最初は大きな歓声に怯えていたのに、今では楽しみなイベントの一つになっている。

ただ、サッカーのルールは全く理解できていないようだ。潤也にとつての楽しみは、サッカー観戦しながら食べるお弁当だ。右に行ったり左に行ったりするボール、それを追いかける選手達を見て、歓声があがると一緒に喜ぶ。そんな非日常的な雰囲気の中で食べるお弁当は、格別に美味しいのだ。

そして、ハーftimeに屋台で購入するフライドポテト。晴天の下、開放的な空間でこれをデザート替わりに食べる。最高に美味しい。

普段の生活は意識していないとルーティン化してしまいがちだ。イベントのお誘いがあれば、子供と外出するチャンスと思いい、参加するように心がけている。個人でサッカー観戦をしようと思うと準備が大変で、どうしても腰が重くなる。また、潤也が体調を崩した場合は、キャンセルのリスクも不安だ。しかし、育成会が主催してくれるイベントなので何も心配は無い。安心して参加できる。



応援にも熱が入ります



いつかは、潤也もサッカーのルールを理解できるようになるかな？好きな選手を見つけて応援するようになるかな？サッカー観戦は、これからは潤也が楽しみにするイベントとして在り続けてほしいと思う。

全国的障害者互助会  
連絡協議会

広島県手をつなぐ育成会  
事務局員 宝田 栄一



令和5年12月4日、コロナ感染症の影響で3年間実施されなかった、全国的障害者互助会連絡協議会を広島市で行いました。広島県を含め6県の代表者と互助制度運営委員及び広島県手をつなぐ育成会の役員、並びにジェイアイシーウエスト広島（AIG損保の代理店）の参加をいただき総勢18名での開催となりました。会長の挨拶後、現状と課題、特にコロナ感染症における取組と影響について各県の代表者からの報告があり、規約にない特別な給付を行っていること、加入者数が伸び悩んでいること等の意見が出されました。また、互助会を実施している県も加入者の減少や各県により制度も異なっていることから、当協議会の継続についても検討しましたが、会の発足の経緯等を三重県の佐協理事長より説明があり、このまま止めてしまうのは惜しいとの意見が多く、来年度以降も継続することが決定しました。会議の後、久しぶりの懇親の会も行い充実した情報交換となりました。令和6年度は、三重県にて10月10日に開催することが決まっています。

令和6年度の行事予定

行事名	開催日	開催場所
令和6年度広島県手をつなぐ育成会理事会	令和6年5月11日(土)	育成会総合福祉センター
令和6年度広島県手をつなぐ育成会定時総会	令和6年5月26日(日)	育成会総合福祉センター
6.7事業所フェア	令和6年6月7日(金)	広島駅南口地下広場
第1回安心して暮らせる地域づくり研究会	令和6年7月13日(土)	育成会総合福祉センター
令和6年度広島県知的障害者相談員研修会	令和6年9月11日(火) 9月12日(水)	みよしまちづくりセンター 育成会総合福祉センター
第9回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会秋田大会	令和6年10月12日(土) 10月13日(日)	秋田県秋田市
第12回手をつなぐ育成会中国・四国大会 廿日市・大竹大会 第12回すまいる大会(本人大会) 香川大会	令和6年10月27日(日)	香川県高松市
第22回全国障害者スポーツ大会SAGA2024	令和6年10月26日(土) ~28(月)	佐賀県
第49回広島県知的障害者福祉大会 廿日市・大竹大会 第22回はつらつ大会(本人大会) 廿日市・大竹大会	令和6年11月17日(日)	はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ
2024ボウリンピックinふくやま	令和6年12月7日(土)	コロナキャットボウル福山
広島県はつらつ友の会 「本人による本人のための相談会&交流会」	未定	未定

互助制度（旧付添看護料共済）

広島県手をつなぐ育成会  
会員限定の保険です

- ①入院保険 病気やケガで入院したときの補償
- ②傷害保険 本人の傷害（ケガ）の補償
- ③他人への損害賠償金 他人への損害賠償

- 知的障害のある方対象
- 特別な審査は不要

プランは2つあります Aプラン（12,000円）、Bプラン（18,000円）/年間  
補償内容（Bプランの場合 年間掛金 18,000円）

入院保険	・付添看護保険料	1日に付き	5,000~8,000円
	・差額ベッド費用	1日に付き	3,000円までの実費
	・入院諸費用	1日に付き	1,000円
	・入院一時金	1入院に付き	5,000円
傷害保険	・ケガによる入院	1日に付き	3,000円（180日限度）
	・ケガによる手術		15,000・30,000円
	・ケガによる通院	1日に付き	1,000円（90日限度）
	・ケガによる後遺障害		8万~200万円
	・ケガによる死亡		200万円
他人への損害賠償金	・対人・対物	1事故	5,000万円 限度（自己負担なし）

詳しい資料のご請求、お問い合わせは下記までどうぞ。  
 <<共済事務局>> 一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会  
 電話 082-537-1773 FAX 082-225-7555  
 <<保険委託引受会社>> AIG保険会社 広島支店  
 担当 ジェイアイシーウエスト広島株式会社  
 電話 082-511-7025 FAX 082-511-7026

☎お気軽にお電話  
ください。